

すこやかな成長は、げんきな足から

去年は、3月に『週刊朝日』「子どもの足が危ない」の記事の中で、子供の足をきちんと見て靴を販売する店としてご紹介いただいたこともあり、小さいお子さんの来店が多い年でした。

歩き方が気になる、すぐ転ぶ、すぐ疲れたと言ってあまり歩かない、等々、子供の足を心配される若いお母さん、お父さん、おばあちゃまに連れられた、可愛いお客様の来店でにぎやかでした。

お医者さんと間違えてお母さんにしがみついて泣き出す子も、やがて表情が和らいで、ストーンとエルデの靴に足を入れると、初めは少し足元がおぼつかないものの、やがてしっかりと足どりで歩き始めるのです。

足のサイズだけではなく、甲の高さ、足の形、踵

の歪み、歩き方、等をチェックして、足に合った靴を選び、必要に応じて調整した靴を履かせ、よく歩かせると、2歳や3歳の子でも、嬉しそうに「あるきやすい」と言ってくれます。逆に、少しでも合わないところがあると、すぐに「いたいっ」と訴えたり、歩きがおぼつかなくなったりします。

そう、子供の足はとても敏感で正直なのです。

ですから、足に合ったしっかりした靴を履かせれば、とてもよく歩いて、活発に行動するようになり、身体や心の成長にもよい影響を与えます。

他の靴があってもエルデの靴しか履きたがらない、足が痛いと言わなくなった、……と、引き続き2足目、3足目のご購入に来店される方が増えています。

そんな、小さなお客様を少しご紹介しましょう。

運動会で転ばずに走れた！

3歳のAちゃんは、広島県在住。8月に千葉のお母さんの実家に来られた折に来店されました。歩き始めたのが遅く、足元がふらついてすぐに転ぶので、整形外科を受診したところ「外反扁平足」との診断を受け、リハビリ治療中でした。

まず、踵のサポートのしっかりしたハイカットのスニーカータイプの靴を履かせると、それだけでも歩行が安定しました。この靴に、ドイツ製の既製インソールを調整して入れると、さらに足どりがしっかりしました。

折々に、電話やお便りを頂いていますが、12月には、「足の動きがたいへん活発になり、運動会でも転ばずに走り通せました。良い靴に出会えてほんとうに感謝しています」との、嬉しいご報告をいただきました。

下條先生のご指示で

1歳のB君は下條整形外科の患者さんで、やはり「外反扁平足」で強度の内股歩き。

下條先生のご指示で、踵のサポートのしっかりした、幅広の革靴に補正を加え履かせたところ、足先をまっすぐに向けるようになりました。まだ2か月を

経過したところですが、3歳位まではこの靴を履かせるように、との先生のご指示です。

3か月で改善することも

小学2年生のCさん。左足が「外反扁平足」と軽度の外反拇趾で足の疲れや痛みを訴えていました。

あちこちの靴屋さん、デパート等を回り、靴やインソールを色々買ってみたけれど、痛みは変わらずご家族も困っておられました。

通学用の革靴に補正、学校の上履きにはドイツ製のインソールを調整して装着。その他外出用、学校の外履き用にも、靴底と踵のサポートのしっかりした靴をお選びしました。

来店より3か月後にフットプリントを採ったところ、拇指の角度がかなり改善し、土踏まずも少し白い面積が増えてアーチの形成が見られ、何よりも足の痛みと疲れがすっかりなくなっていました。

小学校低学年位までのお子さんの場合は、このようにかかなり早く改善が見られるのですが、大切なのは、やはり、足の筋肉をしっかりと鍛えること。暖房の効いた家の中では素足で過ごしたり、暖かくなってきたら、砂浜や芝生の上などを裸足で走り回ったり……、そんなことを心掛けてあげると良いですね。